

WE しもやま LOVE



「LEXUS&GRチャレンジLab@下山中」が始まりました！

トヨタ自動車株式会社の研究開発施設「トヨタテクニカルセンター下山（TTC—S）」は、レクサスカンパニーとGRカンパニーの開発拠点となっています。今年度から、両カンパニーのご協力により「LEXUS & GRチャレンジLab@下山中」と題して、下山中学校において様々な講座を開催していただけることになりました。

【第1回目のテーマは空力（くうりき）】

7月15日（火）、16日（水）の2日間、第1回が開催されました。今回は2年生と3年生を対象に「空力～空気をデザインするクルマづくり by LEXUS×ボーネルンド」と題した講座が行われました。空力とは、空気の流れとそれが物体に与える力のことで、自動車の燃費向上や走行安定性の向上などのために研究されている分野です。

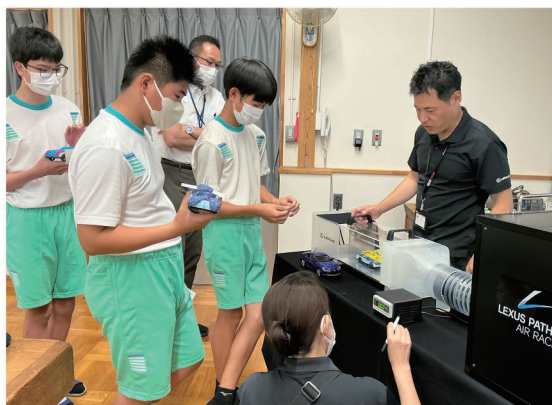
生徒たちはまず、一人ひとりが想い描く未来のクルマをデザインし、粘土で模型を製作しました。その模型を、空気抵抗を測る装置に入れてクルマにかかる空気抵抗を計測。その後、空気抵抗を減らす5つのポイントを聞き、改良を重ねて計測を繰り返し、形状を変えるたびに空気抵抗が変わることを学びました。

生徒からは「工夫すればするほど良い変化が出るのを目の当たりにして楽しく面白くなっていった」「工夫することの楽しさや成功した時の達成感を感じることができた」との声が聞かれました。レクサスの方から生徒に対して、「この講座での体験を通して、ものづくりの楽しさを感じてほしい」「将来共にメンバーとして下山から世界を驚かせるクルマをつくりましょう」とのメッセージが送られました。

第2回は9月に「水素」に関する講座、第3回は12月にアスリートとの交流が予定されています。



▲空力・空気の流れを学ぶ



▲空気抵抗を計測



▲粘土を使って模型を製作



まちの突撃！？隣のしもやまファンVol.9「柿野 とも子さん」

このコーナーは、地域記者まちの連載コラムです。下山に移住・定住された方たちを紹介し、下山地区の魅力の再発見を目指しています。第6回は、花沢町に移住された柿野とも子さん取材しました。

【柿野とも子さんのプロフィール】

柿野さんは愛知県岡崎市出身。平成21年4月に下山の花沢町へ移住し、地域に根ざしたフラメンコ文化の普及に尽力しています。下山の自宅でも教室を行っており、下山交流館等で今後レッスンを開催予定です。

幼少期からバレエ・ダンスが大好きで、中学・高校時代は新体操部に所属し、身体表現に親しんできました。社会人になってからはデザイナーとして23歳まで勤めたのち、幾度もスペインを訪れ、スペイン人アーティストに師事しながらフラメンコを学びました。その情熱はやがて本格的な活動へと発展し、20代後半からは自身でフラメンコのレッススタジオを主宰。現在では約50名の生徒を指導しながら、講師・フラメンコダンサーとしても精力的に活動を続けています。今年で講師歴25年を迎え、5年前からは、フランス式床バレエにも取り組むなど、身体を通じた表現の探求を続けています。



▲活動内容はこちら

【しもやまに移住したきっかけ】

きっかけは、両親が下山をドライブしていた時、偶然見つけた素敵な物件に「ここ、住みやすそうだね。もうここに住んじゃおうか!」と、即決で岡崎市からの移住を決めました。今年で25年目。そして今は私と家族、そして姉妹猫と暮らす、かけがえのない

▲「AiRe Mariposa flamenco studio」主宰 大切な住まいとなっています。

フラメンコダンサー 柿野とも子さん

日本バレエ協会認定講師としても活躍！

【パリジェンヌ・フランス式床バレエへのおもい】

フランス式床バレエとは、フランスで半世紀以上前から伝わる、パリジェンヌたちに人気の「フランス国立パリ・オペラ座」メソッド。

床に座ったまま立ち上がりずに行うこのストレッチは、ピアノの音楽を聞きながら、優雅なパリジェンヌの気分で“ズボラに”取り組めるのが特徴です。体に負担をかけずに骨盤底筋を鍛え、姿勢改善・自律神経の安定・デトックス効果など、美と健康にうれしい効果がたくさんあります！日常の中で気軽に取り入れられるこの素敵なストレッチを、日本バレエ協会認定講師として、たくさんの方に届けていきたいと思っています。



▲生徒さんと踊る柿野さん(左から3番目)



▲フランス式床バレエのレッスン風景

【とも子さんからしもやまの好きなところをひとつ！】

「しもやま」は、人の温かさと自然の美しさがあふれる大好きな場所です。近所の方々はみなさん本当に親切で、あたたかくて、思いやりに満ちています。そして何より、しもやまの澄んだ空気、豊かな自然、都会とは違うゆっくりと流れる時間、そんな「しもやまの空気」を日々感じながら暮らせることが、私にとって本当に幸せです。

取材・記事：川合真裕(まちの)：平成4年生まれ。小・中・高校と卓球に明け暮れる毎日。羽布建設の家族業を継ぐため現在奮闘中。下山を盛り上げたいという想いを持った同級生5人組「Village Fan's Co.」代表。現在、里楽暮住(りらくす)しもやま会の委員に就任しています！





わくわく事業団体紹介 アップサイクルしもやま

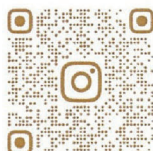
私たち「アップサイクルしもやま」は、地域から古着物の寄付を募り、「犬の和服」にアップサイクル（廃棄物や不用品に新たな価値を加えて再生すること）する事業を実施します。犬の和服は、地元のイベントなどで展示したり、愛犬との撮影会などで活用したりして、下山ファンを増やして地域活性化につなげたいです。昨年度は、下山名物の鯉のぼりで犬の服を作成し、大きな反響をいただきました。

着なくなった着物や浴衣がタンスに眠っていませんか？ただ捨ててしまうのではなく、その思い出の品を、下山の地域活性化のために使わせていただけないでしょうか？下記のとおり募集していますので、どうぞ皆様、よろしくお願いします。

【募 集 概 要】

- 種 類 着物、浴衣、兵児帯
- 募集場所 下山交流館（大沼町越田和37-1）
- 募集期間 7月1日（火）～9月30日（火）
※100着に達し次第、回収を締め切らせていただきます
- 詳 細 詳細は公式Instagram、又は各戸配布チラシをご覧ください。

「公式Instagramはこちら」⇒



▲鯉のぼりをアップサイクルした犬の服



しもやまバス協賛金のご案内

下山地区を運行する「しもやまバス」は、地域に暮らす皆さまの日常生活を支える大切な公共交通機関です。通学や通院、買い物など、車を持たない方や運転が難しい方にとっては、なくてはならない“地域の足”となっています。下山地区公共交通協議会では、「しもやまバス」の利用促進を目的として、協賛金制度を令和6年度より創設しました。

この制度は、しもやまバスの利用促進により将来にわたって地域に必要な交通インフラを維持することを目的とし、どなたでもご参加いただける仕組みとなります。協賛金は1口1,000円からで、企業や団体はもちろん、個人でのご協力も歓迎しています。

お寄せいただいた協賛金は、次の取り組みに活用させていただきます。

- ①中学生・高校生を対象とした回数券配布キャンペーン
- ②運転免許を返納された高齢者の方への回数券配布キャンペーン

しもやまバスをこれからも継続して運行できる環境を守るために、皆さまのご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。協賛金のお申込み方法など、詳しくは下山支所までお問い合わせください。

特典の内容	対象	協賛金の額
氏名などの広報誌等への掲載	全ての協賛者	指定なし
バス停の設置	事業所又は団体	5口以上
車内広告の掲示	事業所又は団体	10口以上

詳細はこちら ▶



消防団第8方面隊合同訓練会が開催されました！

6月29日（日）に豊田市立巴ヶ丘小学校を会場に消防団主催による《第8方面隊合同訓練会》が盛大に開催されました。

毎年この時期に開催される訓練会では、澤田方面隊長以下、総員43人の団員が集団行動の団結力を示すため隊列を組み、一糸乱れぬ行進をする部隊訓練や、6月に豊田スタジアムで開催された《豊田市消防団警防技術交換会》で、優秀賞を受賞した第2分団(大沼)による警防技術訓練も披露されました。

辻副市長ら多くのご来賓の方が訓練を参観され、「素晴らしい訓練でした。下山地区の安全を守っていただける消防団に、更なる期待を寄せています！」と、コメントを頂きました。

下山地区では8月31日に、地区全体で防災訓練が行われます。皆さまも、ご自身の自治区の防災訓練に参加いただき、地域全体で安全・安心を高めていきましょう。



▲部隊訓練の様子



▲警防技術訓練の様子



完全予約制のマイナンバーカード出張申請窓口を開設します

下山支所で、顔写真の撮影を兼ねたマイナンバーカードの申請、健康保険証利用登録のお手伝いをします。

■日時 9月10日（水） 9：30～12：00、13：00～15：00

■対象
マイナンバーカードの申請：豊田市に住民登録をしている方
健康保険証利用登録：既にマイナンバーカードを持っていて、利用登録をしていない方

■予約方法 **【8月18日（月）から予約開始】**

①右の二次元バーコードを読み取り、豊田市公式LINEから予約 ⇒

②マイナンバーカードコールセンター（土日祝日を除く）へ電話
（0570-083-130）



■予約締切 **各開設日の2日前** ※定員に達し次第、締め切り

■持ち物 予約の際に必要な持ち物について確認の上、当日忘れずにお持ちください。

■その他
・健康保険証利用登録の方限定で、公金受取口座の登録サポートも行います。
（希望の方は、ご自身名義の通帳またはキャッシュカードをお持ちください。）
・15歳未満の方は、法定代理人の同伴が必要です。
・下山支所では、予約の受付、手続きの問い合わせはできません。

【問合せ】 市民課 マイナンバーカードコールセンター ☎ 0570-083-130

平日 8：30～17：15、休日（開設日はホームページで確認ください。） 9：00～17：00



来たる本年11月6日から9日に開催されるFIA 世界ラリー選手権フォーラムエイト・ラリージャパン2025に向けしもやまラリー実行委員会の酒井淳一部会長に実行委員会の活動についてお話を伺いました。

Q：しもやまラリー実行委員会設立の経緯を教えてください。

A：2019年、当時商工会青年部の部長であり、地域のイベントの企画や運営等を行っていたことからラリージャパン2020のおもてなし、コース上の盛り上げについて下山支所の担当職員から相談を受けました。地域の繋がりのある人達に声をかけ、少しずつ地域を盛り上げたい同志を増やしていき、実行委員会を立ち上げました。

Q：5月に開催した豊田しもやまラリーによる地域振興の取組成果について教えてください。

A：地域の人のラリーの認知度が徐々に高まってきているのと同時に、ラリードライバーの方々や運営関係者、ラリーファンの皆様の間でも下山の認知度が回を重ねるごとに上がってきているのを感じます。当日の表彰式では、選手からプライベートでも下山に遊びに来ていると話を伺いうれしく思いました。また、おもてなしイベントでは毎年下山のことを紹介しているのですが、ファンの方から大会とは別の日に下山を訪れ、紹介されたところを観光したとのお声もいただき、手ごたえを感じています。

Q：最後に読者に向けてのコメントをお願いします。

A：世界ラリー選手権は13億人が視聴するととも注目度の高い世界大会です。この大きな大会が下山地区で行われることを子どもたちに知ってもらい、地元を誇らしく思ってほしいし、愛郷心を育んでもらえたらと思います。実行委員会では、様々なイベントを行い、下山を離れた皆様にも再度、下山を思い出してもらえような活動をしています。また、実行委員会ではラリーが好きな人だけではなく、下山を盛り上げたい人が、それぞれの得意なことを生かしながら幅広い年代が楽しく活動しています。実行委員会メンバーはもちろん、イベント当日のボランティアとして気軽に関わりたい人も大歓迎ですので、興味のある方は、下山支所を通じて連絡ください。



▲紹介：酒井 淳一
地域活性化部会 部会長

下山地区データ

人口
3,899 人
(-66)

男性
1,949 人
(-23)

女性
1,950 人
(-43)

(7月1日現在)
※()は前年同月比
世帯数
1,644 世帯
(1)

発行情報

編集・発行

お問い合わせ

豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）
毎月15日発行

TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344
MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！





【 社協下山支所だより 】

まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyo.jp

身体も心も元気で暮らそう



健康・福祉

言わずと知れた下山の花、
「ササユリ」が咲きました。

人工栽培第1号



ササユリは日本固有のユリで、花をつけるまでに7～8年かかり、清楚で上品な姿から「ユリの女王」と呼ばれています。近年は動物による食害も広がり、ササユリが絶滅寸前という地域もあります。下山地区には保護活動の取り組みがあり、まどいの丘も活動のお手伝いとして、ササユリの芽の印となる笹竹作りや、1年目～7年目のポット植えササユリをお預かりしてお世話をしています。開花時期は6月中旬頃で、今年は人工栽培第1号のササユリが咲きました。美しく可憐で見とれてしまいます。地域全体でササユリを守っていききたいですね。

今年も熱中症に注意する時期がやってきました！

労働安全衛生規則改正が施行され、令和7年6月1日から職場での熱中症対策が義務化されました。熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業所に義務付けられました。地球温暖化の影響により、ひと昔前と比較すると、近年の夏の暑さは異常とも言える状況が続いています。熱中症発生の原因の多くは「初期症状の放置」、「対応の遅れ」にあります。職場でも、家庭環境でも、健康に過ごしていけるよう、対策していきましょう。

熱中症の症状



応急処置をしても
症状が改善されない場合は医療機関
を受診しましょう。

熱中症が疑われる人を見かけたら(主な応急処置)

❄ エアコンが効いている
室内や風通しのよい日陰
など涼しい場所へ避難

❄ 衣服をゆるめ、からだを
冷やす
(首の周り、脇の下、足の付け根など)

❄ 水分・塩分、経口補水液※
などを補給
※水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの



119

自力で水が飲めない、
応答がおかしい時は、
ためらわずに救急車を
呼びましょう。

【厚生労働省 on X：熱中症の予防方法記載のリーフレットから引用】



下山交流館だより

連絡先

TEL:0565-91-1650

FAX:0565-91-1030



開館:午前9時～午後9時 休館日:月曜日(祝日、振替休日を除く) H P:<http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>

講座報告

やまの保健室 プラスサロン

6月19日(木)交流館11会議室にて保健師による「熱中症について」の講話と簡単体操を行いました。

次回は8月21日(木)
9時30分からシャンソン
(歌とギター)鑑賞会を行います。



みんなで簡単体操

※詳細は交流館チラシ・ホームページをご覧ください。

お蚕さん 飼育報告

みんなに愛され みごと繭に!



稲武地区養蚕・製糸文化伝承事業の「いなぶシルクファンクラブ」に参加し、お蚕さんを交流館で育てました!蚕の幼虫から繭になるまで2週間、短い期間でしたが日に日に成長する蚕に驚き感動し貴重な経験でした。



6/8飼育スタート

6/21登り始めた

6/24繭に変身

わたしたちと一緒に働きませんか? 交流館職員を募集します!

交流館職員ってどんなお仕事?
そんな方に「採用説明会」を開催します。

- ① 9月 7日(日) 保見交流館
- ② 9月 9日(火) 高橋交流館
- ③ 9月 14日(日) 足助交流館

※時間は各回、午前10時30分～正午

【説明会申込期間】

9月2日(火)～開催前日までに下記へ電話でお申込みください。

【受験資格】

昭和45年4月2日以降生まれで、高等学校以上を卒業した人

【受験申込期間】

9月2日(火)～9月23日(火)

【説明会申込・お問合せ先】

(公財)豊田市文化振興財団 総務課

TEL 0565-33-7222

説明会、募集について
詳細はこちらから→



宝くじ助成金で 新しい備品が入りました!

コミュニティ助成事業補助金(宝くじ助成)制度により、コミュニティ活動に必要な新しい備品が入りました。貸出は下山地区内での利用に限ります。個人の利用はご遠慮ください。詳細は交流館にお問合せください。



屋外
音響セット



プロジェクター



簡易テーブル

9月ロビー展示 生活創造堂さん

『生活創造堂
活動紹介』



子どものお手伝い・ウサギを飼って...

絵と文 なみあきこ

夏は夏休み。じいちゃんや子どもたちの夏休みは虫捕りや川泳ぎで遊んだが、家の手伝いもたくさんしたぞ。父ちゃんも母ちゃんも夏の長い夏の間は田の草取りや肥やしにする山や土手の草刈りに田の出から日暮まで猫の手も借りたい大忙し。子どもは朝一番に田へ出る親に代わってお釜で飯を炊く。もいたし風呂や場所の水がめの水くみも子どもの仕事だったよ。もちろん薪で風呂沸かしたってしたぞ。そっけにウサギを飼ってつづかい



外の
井戸から
水を
運ぶよ。

火ふき竹で火を起こす。



稼ぎもしたよ。ウサギは子どものじいちゃんやせがれでえさの草を取ってきたり、干し草を敷いてやりたり、汚水を掃除してやりたりして元気なウサギを育てるんだ。

冬になるとウサギを買い手が来い出たな。冬もなれたウサギの毛皮が、いい値で売れたんだよ。ウサギの肉は

食用になるし、ウサギを買い手はウサギを飼っている家々を回って買って行く。じいちゃん所へ来る人は毛皮だけ買って、肉は置いていかれたよ。肉は家で貴重なものになったんだよ。

冬は毛皮も上等になるし、肉は脂がのって美味くなるし、冷蔵庫の無い時代、家畜を飼って食べるのは主に冬だったよ。

今じゃあ家で飼っている動物を食べるなんて、子どもたちには考えられないだろうけれど、昔は普通にそうやう暮らしていたんだよ。



もちろん遊ぶことは忘れないよ!!